

# 西要寺だより

第115号 令和6年8月10日

暑くなってきました。「暑い。暑い」と言っても何も変わらないのですが、ついつい「暑いですね」と挨拶代わりに言うことが多くなってきました。今回の「西要寺だより」では、永代経法要・定例法座の報告などをさせていただきます。

## ●永代経法要のご報告

5月21日22日の両日、永代経法要をお勤めさせていただきました。両日とも午後2時より「仏説阿弥陀経」をお勤めし、その後、龍谷大学講師葛野



(かどの) 洋明先生のご法話を聴聞しました。先年に亡くなられた先生のお父様のお話でした。「同一念仏無別道故」は、中国の曇鸞（どんらん）大師のお言葉です。親鸞聖人は曇鸞大師を尊崇され、「同一念仏無別道故」の言葉をご著書のなかに引用しておられます。「同じくお念仏を称える私たちはお浄土の道に往かせていただけます」、ということです。ずっと勉強されてきた先生ですので、「同一念仏無別道故」という言葉は若い頃より十分に理解されていました。しかしながら、その言葉の有り難さをお父様の死によってあらためて心のなかに染みわたっていった、というお話が印象に残りました。

私たちは人生を歩んでいくうえで、楽しいことばかりだといいいのですが、そういうわけにはいきません。悲しいこと苦しいことは必ずあります。悲しいことや苦しいことの方が多いかもしれません。そのような時に普段聞いていた仏教の話をあらためて思い出して、阿弥陀さまのお慈悲を感じて心の支えとなっていくと思います。

私は一人で悲しみ苦しんでいるのではなく、阿弥陀さまとともに悲しんでくださっていると。是非とも仏教のお話を聞くためにお寺に足を運んでいただきたく存じます。ご参詣い



ただいた方、ようこそお参りくださいました。

## ●定例法座のご報告

・ 4月22日

午後2時より、「正信偈」のお勤めをし、その後、渡辺顕代先生（本願寺派布教使・尼崎市長洲 長安寺住職）のご法話を聴聞しました。私たちの心の奥の思いとして死にたくはない、ということがあるでしょう。しかしながら、この世に生まれてきた以上、死を避けることは出来ないのです。しかしながら、阿弥陀さまは浄土に往き生まれさせると誓ってくださっています。その誓いを本願と言います。浄土真宗本願寺派の本願、本願寺の本願は、阿弥陀さんの誓いである本願が由来です。つまり、私たちは死ぬのではなく、浄土に往き生まれることであるということです。また、浄土に往きっぱなしではなく、私たちの世界、この世にかえって来られて私たちのためにはたらいてくださっているのです。



・ 6月22日

午後2時より、「正信偈」のお勤めをし、その後、野村淳爾先生（相愛大学講師・浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）のお話を聴聞しました。



今年度から定例法座に「日常勤行聖典」（お経の本）のなかの「御文章」の話もしていただくことにしています。

6月は「聖人一流の…」の話でした。「御文章」とは、親鸞聖人から数えて8代目の蓮如上人のお手紙です。蓮如上人は浄土真宗の教えをわかりやすくお手紙の形式で書かれたものを「御文章」というのです。浄土真宗の教えをわかりやすく、といっても室町時代の方が書かれた文章です。この法座では現代人にもわかりやすく話をさせていただきました。

次回の「御文章」法座は11月です。楽しく学びましょう。

## ●「葬儀について考える法座」のご報告

7月21日（日）午後2時から、「葬儀を考える法座」を行いました。内容は「最近のお葬儀事情」として「1.変わりゆく葬儀 2.なぜ葬儀をするのか 3.家族葬とは 4.家族葬の留意点 5.家族葬の事前準備 6.葬儀の費用 ※いざという時にそなえて」（当日配布されたレジュメより）でした。

そのなか、「家族葬とは」で、「家族葬は参列して欲しい人だけに連絡し、一般にはお知らせしません」「お知らせする範囲は、家族葬と名前がついていますが、家族・親族・友人・知人の参列もできます」という話がありました。

それは家族葬であっても、親族・友人・知人も参列してもいい、ということではなく、喪主さんから葬儀の連絡をもらえば、家族葬であっても、親族・友人・知人も参列してもいいということです。要するに、家族葬の範囲は喪主さんが決めるのであって、家族葬だからこのようにしなければいけない、という決まりはないということです。

最後に、いざという時にそなえて ①喪主を決めておきましょう ②遺影写真を準備しておきましょう ③現金の用意をしておきましょう ④葬儀社の電話番号を確認しておきましょう ⑤病院からの搬送先を決めておきましょう ⑥本籍地を確認しておきましょう という話でした。気になる方は住職までお尋ねください。

今後もこのような"終活"関係の法座を行っていく予定です。興味をお持ちの方は西要寺ホームページで確認されるか、西要寺までお問い合わせください。

## ●最後に・・・

住職は4月より再び龍谷大学の講義を担当することとなりました。9月20日からは金曜日（午後）、9月25日からは水曜日（午後）にも出講します。前住職のことをよく尋ねてくださるのですが、マイペースにお参りに行っております。元気にしています。また、住職の娘は3月までは保育園で保育士として働いていましたが、3月末で退職し、フルタイムで西要寺の法務をすることとなりました。また、さらなる資格

(僧侶関係)を取得するために勉強中です。引き続き、宜しくお願いいたします。これからも暑い日々が続きますが、くれぐれも熱中症などに注意してください。

◎西要寺行事予定◎

【定例法座】

9月22日(日)午後2時より

講師：西要寺住職

場所：西要寺本堂

【報恩講法要】

10月20日(日)21日(月)両日ともに午後2時より

講師：岡村喜史師

(中央仏教学院講師 本願寺史料研究所上級研究員)

場所：西要寺本堂

※以降は 11月22日「御文章」の話 12月22日 仏像講座  
を予定しています。

ホームページ (saiyouji.com)



または <sup>さいようじ</sup>西要寺 と検索ください。

浄土真宗本願寺派 <sup>さいようじ</sup>西要寺

661-0024 尼崎市三反田町1-7-27

TEL 06-6429-8241